

患者さまへ 臨床研究に関するお知らせ

当院では医療情報データベースを使用した「当院心臓血管外科領域における離床を中心とした心リハビリ開始前後の比較と心リハビリ立ち上げにおける課題」といった臨床研究を実施しています。ご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。

研究の概要

【対象】

当院で冠動脈バイパス術や大動脈弁及び僧帽弁置換術など開心術を施行した方を対象としています。

【意義・目的】

2019年より当院は心大血管リハビリテーション(以下、心臓リハビリ)を開始し、その経過において患者さんに對してさらには病院に対してどのようなメリットをもたらすことができるか調査していくものです。更には、心臓リハビリを開始するにあたって当院の経験がこれから心臓リハビリを始めようと検討している医療機関へ向けて一つの参考となるよう報告していく事も目的とします。

【方法】

対象となった患者さんの上記疾患に対して手術入院された際の医療情報（個人情報に含まれません）及び既往歴などを調査し、心臓リハビリを開始する前後にて医療情報を比較検討致します。

【対象期間と目標人数】

算定前2018年4月～2019年3月の開心術施行症例29例及び2019年4月～12月の間での心臓リハビリ算定後の開心術施行症例19例の合計48例

【その他】

- ◆ この研究は過去の医療情報の記録を使用するため、患者様の診察に影響を及ぼす事はありません。
- ◆ 患者様に経済的な負担はありません。謝礼などの支払いもありません。
- ◆ 研究では患者様を特定できる個人情報は利用しませんので、研究成果が学会や学術雑誌で発表される際に、個人情報公表されることはありません。
- ◆ この研究から成果が得られ、知的財産権などが生じる可能性があり、その権利は研究グループに帰属します。
- ◆ この研究へのデータ利用を拒否される方は下記問い合わせ先までご連絡ください

情報の開示について

この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者様の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この場合は担当医師にお申し出下さい。

- ◆ 開示の制限:以下に該当する場合、その一部またはすべてを開示する事が制限されます。
 - ① 利用目的を被験者に通知し、又は公表することにより被験者又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれのある場合
 - ② 利用目的を被験者に通知し、又は公表することにより当該臨床研究責任医師の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
 - ③ 国の機関または地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を被験者に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合
 - ④ 取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合
 - ⑤ 他の法令に違反する場合

❖ 問い合わせ窓口と連絡先

恩賜財団済生会横浜市南部病院 リハビリテーション技術部 小菅 健太
住所: 〒234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台 3-2-10
電話: 045-832-1111